

クラスのできることマップ（第7時）

() 組 なまえ_____

領域・形態・時間	聞くこと・話すこと [やり取り] クラス全体で数える→1人1枚 第7時15分
ねらい	ビンゴで集めた can をクラス全体で数えて「できることマップ」にする。多い can・少ない can を読みとり、レアな can の友だちに Wow! を言いに行く。数えるのは動作ごとの人数——人に順位はつけない。

やり方

この流れでやってみよう

- 1Can you swim? Raise your hand!
先生が16の動作を順にたずねる。できる人は手をあげる
- 2Count! One, two, three...
手の数をみんなで数えて、マスに人数を書く
- 3Which is No. 1? Which is rare?
いちばん多い can と、3人以下の「レアな can」を書く
- 4Wow! Can you do kendama? / This is Ken. He can do kendama!
レアな can の友だちに Wow! を言いに行く。さいごに、希望した班の代表が席で1文をみんなに伝える

かぞえよう

先生がたずねる→できる人は手をあげる→手の数をマスに書こう（できない人は数えない）

できること	人	できること	人	できること	人	できること	人
1 swim		5 ride a bike		9 play the guitar		13 do kendama	
2 run fast		6 ride a unicycle		10 sing		14 cook	
3 jump high		7 play the piano		11 dance		15 wash the dishes	
4 play badminton		8 play the recorder		12 draw		16 clean the room	

よみとろう

マップを見て書こう（日本語でOK）

いちばん多い can	(人)	だれもない can	
------------	------------	-----------	--

すごい人 発見

レアな can（3人以下）の友だちに Wow! を言いに行こう

なまえ	レアな できること (He[She] can ~.)	Wow! と言えたら ○
		□
		□

ルール

①数えるのは手の数（動作ごとの人数）。人の名前で順位をつけない ②できない人の数は数えない（can't は聞かない） ③レアな can は「すごい」ではなく「めずらしい」。本人が言いたくなければ発表しない ④手をあげるかどうかは自分で決める

☆レベルアップ！

レアな can の友だちに Wow! のあと How? / Show me! を足せたら取材名人。世界の子どものできること（教科書）で、クラスのだれもできないことを1つ見つけたら◎。

クラスのできるこマップ（第7時）〔先生用メモ〕

児童に配るのは、この前のページまでです。このページから先は先生の手元に置いてください。

先生へ（運用のコツ・中間指導）

- ・拡大したI枚を黒板に貼り、Small Talk で先生が2つ（ride a bike / do kendama）を数えて書いて見せてから配る。「どこに書くの」で止まる子がゼロになる
- ・◎数えるのは動作ごとの人数だけ。人を「できることの数」で並べると、単元のねらい（たずね合って相手を知る）がランキング大会に変わる——計画の第7時を「すごい人ランキング」から「マップ」に書き直したのはそのため
- ・手をあげない自由を先に宣言する。「言いたくないことは、あげなくていい」——can't を人前で数えないのと同じ理由
- ・◎この紙は評価に使わない。第8時の下ごしらえ——Can you ～? と Wow! Really? のI往復を全員が一度は言った状態でテストに行ける